

まび野

(公財)岡山県郷土文化財団

2026. 夏 第174号



満谷国四郎『白壁』 大正十五年（一九二六）

油彩・カンバス 六一・〇×七三・〇cm（岡山県立美術館蔵）

満谷国四郎（二八七四～一九三六）は総社市生まれです。岡山中学在学時に、図画教員の松原三五郎に才能を認められました。その後上京して画塾不同舎で小山正太郎に学びます。明治美術会創立十年記念展で『林大尉戦死之図』（一八九七年、皇居三の丸尚蔵館収蔵）が明治天皇の御買上になるなど、戦争と歴史、風俗を写實的に描く有望な画家として評価されました。一九一一年から一四年にかけての渡欧を機に作風は変わり、『瀬戸内海風景』（一三三三）に掲載、一九一七年）では、海景の見晴らしを平明な色彩で装飾的に描くなど、大きな変貌を遂げます。関心を持つ地域は西洋から東洋へと移り、大正時代以降、中国には四回（一九二三、二四、二六、二九年）

渡航しました。『臨江甘露寺（鎮江）』（一四二二）に掲載、一九二四年）は第二回渡航時の作品です。『白壁』は第三回渡航時に制作されました。江南の都市、蘇州の水郷です。街並みに奥行きが感じられない平面的な作品で、白壁の幾何学的な形が強調されています。運河に流れは感じられず、三隻の舟に乗る人々の多くは横を向きます。鈍い色づかいで温和な雰囲気作品です。満谷はその後、浴衣の女性像『朝の身仕舞』（一五四四）に掲載、一九三二）や、裸婦像の代表作『緋毛氈』（一九三二年、公益財団法人大原芸術財団大原美術館所蔵）など、東洋的な情趣を盛り込む作品を描きました。

（岡山県立美術館主任学芸員 廣瀬就久）

目次

表紙説明	1
随想二題	2～3
岡山人十一年	（藤實久美子）
岡山城と私	（渡辺泰多）
岡山の人物	4
土肥経平	（内池英樹）
岡山の自然	5
白石島の鎧岩	（安東康宏）
岡山の文化財	6
金毘羅常夜燈	（白石祐司）
わが町・わが村の自慢	7
備前市学びと遊びの健康プラザ	（備前市西片上）
（ビーテラス）	
ふるさとの想い出	8
良寛漢詩「読永平録」の詩碑建立	（倉敷市）
文化財団ニュース	9～10
催しのご案内	11～12
会員だより	13
ご案内	14
題字	岡山県郷土文化財団 元理事長 長野 士郎

ご案内

「和文化体験」・「伝統工芸ワークショップ」講座開催

八月開催の後楽園夜間特別開園「夏の幻想庭園」の関連行事として「和文化体験」を後楽園鶴鳴館で次のとおり開催します。

また、県内の伝統工芸にふれる「伝統工芸ワークショップ」、昨年好評をいただいた「殿様御膳付き狂言鑑賞会」なども予定しています。詳細は決定次第、文化財団ホームページなどでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

和文化体験

①七月二十六日(日)「日本画」

倉敷芸術科学大学助教

原田よもぎ

②八月四日(火)

同大学技術補助員 潮 嘉子

「三味線(民謡)」

民謡家 みずほ倶楽部

(民謡研究所) 主宰

田中みずほ

③八月五日(水)「礼法」

全日本作法会家督

吉井睦美

④八月六日(木)「琴」

箏曲三上社副宗家

三上澄之

⑤八月七日(金)「茶道」

茶道裏千家教授

堀田宗喜

⑥十二月二十三日(水)「華道」

日本いけばな芸術協会

特別会員

華道専敬流岡山県支部長

小野和代

⑦令和九年二月十一日(木)

「折紙」

日本折紙協会認定折紙講師

片岡元子

伝統工芸ワークショップ

①七月二十五日(土)

「鳥城彫」

鳥城彫協会

スミス一三省吾

木口ディアンダレ

②七月二十七日(月)

「和漆色絵付」

漆芸家

日本工芸会正会員

塩津容子

③十一月八日(日)

「神代和紙ワークショップ」

神代和紙保存会

④令和九年三月二十日(土)

「作州絋展」

作州絋保存会

狂言鑑賞会

①十月二十三日(金)

②令和九年三月二十六日(金)

田賀屋狂言会

池田光政公御涼所跡再整備

昨年度、池田光政公御涼所跡(岡山市北区中原)の一部にあつた消防機庫が撤去されることになり、今年四月から再整備を開始。工事は五月二十一日(木)に完了しました。

再整備にあたっては、池田家歴代藩主の仁政を讃えた二基の碑の周辺の再整備、光政公が愛した梅「花香美」の植樹、新規看板の設置をしました。ぜひ、お立ち寄りください。



お問い合わせ先

岡山県郷土文化財団

電話

〇八六一三三三二五〇五

文化財団広報(第一七四号)

発行(公財)岡山県郷土文化財団

岡山市北区表町一七十五

☎(〇八六)二三三二五〇五

発行日 令和八年六月三十日